



130th anniversary

創立130周年記念



令和7年6月9日(月)
笛吹高等学校体育館

山梨県立笛吹高等学校
Fuefuki High School

創立130周年記念式典

記念式典次第

(13:00～14:00 於：笛吹高等学校体育館)

1. 開式の辞
2. 国歌斉唱
3. 物故者への黙祷
4. 実行委員長挨拶
5. 校長式辞
6. 来賓祝辞
7. 生徒代表挨拶
8. 来賓紹介
9. 祝電披露
10. 感謝状並びに記念品贈呈
11. 受賞者代表挨拶
12. 校歌斉唱
13. 閉式の辞

スライドで振り返る130年の歩み

(14:05～14:20 於：笛吹高等学校体育館)

記念講演会

(14:30～15:30 於：笛吹高等学校体育館)

懐かしの校歌



石和高等学校校歌

作詞 内田義広
作曲 小出浩平

一、陽に映える 富士に真向い
若草の 萌えゆくあした
窓ひらく 若人我等
曇りなき 瞳をあげて
望むは遠か 宿すはひかり
石和高校
おおわが母校

二、笛吹の 清き流れに
色深き 理想を汲みて
日に進む 若人我等
新しき 叡智を胸に
希望に満ちて 歴史を創る
石和高校
おおわが母校

三、紫の葡萄の房に
おく露は 明るく直く
あたたかき 若人我等
おほらかな 心を磨き
此の峡東の 鑑とならむ
石和高校
おおわが母校



山梨園芸高等学校校歌

作詩 米山愛葉
作曲 明本京静

一、春 三月の花風を
学びの窓にそよがせて
道を拓く人となれ
理想に燃えて青春の
友情ここに咲き薫る

二、翠したたる 榛原
希望の色は四方に映ゆ
土の命と語らへば
文化を興す使徒たれと
時代は我を待てるなり

三、青空なびく 西空に
連なる南ア銀の嶺
勤労の朝自主の夕
仰ぎつ瞥へ昂げよ名を
山梨園芸 栄あれ



山梨県立蚕業学校校歌

作詞 斉藤新雄
作曲 高田修一

一 笛吹川の水澄みて
玲朗富士の雪清し
雙眸これを仰ぎては
若人吾等に希望あり

二 勵む學びの文の奥
石和の麓影追ひて
尋ぬる道の遠くとも
若人吾等に努力あり

三 千古の雪はアルプスの
山脈永く連なりて
濁りに染まぬ氣高きは
若人吾等の鑑なり

四 蠶飼の業に身を委ね
繰る絹絲の盡きぬごと
皇國の富みを増すは
若人吾等の務なり

記念講演会

石和高校の卒業生で笛吹高校校歌の作者

藤巻亮太さんトークショー

講師 藤巻亮太氏 (ミュージシャン：笛吹高等学校校歌作者)

1. 開会の言葉
2. 講師紹介
3. 講演
4. 生徒代表お礼の言葉
5. 花束贈呈
6. 閉会の言葉

【プロフィール】

1980年生まれ。山梨県笛吹市出身。

2003年にレミオロメンのメンバーとして

メジャーデビューし、「3月9日」「粉雪」など

数々のヒット曲を世に送り出す。2025年4月4日

北海道を皮切りに全国7都市&台湾公演のツアーを開催。

地元・山梨県では2018年から野外音楽フェス「Mt.FUJIMAKI (マウントフジマキ)」を主催し、2025年は9月27日(土)に開催予定。



【笛吹高校生へのメッセージ】

この度は創立130年おめでとうございます。

長い歴史の一部として僕も3年間を石和高校で過ごしました。今は音楽を生業にしていますが、当時はそんなことを考えもしていませんでした。

ただ、何者でもなかった高校3年間で感じたこと、考えたことや悩んだことが、自分のコアな部分をつくってくれていると今は強く思います。

無駄なことなど何もないので、高校3年間を一生懸命生きてください。

感謝状贈呈者

(敬称略・順不同)

歴代校長

- 保坂 博文(第42代石和高等学校校長)
- 故 野口 洋二(石和高等学校・山梨園芸高等学校最終校長)
- 松本 純也(第1代)
- 加賀美 史朗(第2代)
- 若林 喜久男(第3代)
- 井上 孝悦(第4代)

歴代PTA会長

- | | | |
|---------|----------|----------|
| ● 小菅 秀樹 | ● 角田 公男 | ● 木川 公雄 |
| ● 西川 敏章 | ● 雨宮 寿男 | ● 佐野 淳一 |
| ● 早川 明宏 | ● 中川 恒明 | ● 今井 扶佐章 |
| ● 山本 憲一 | ● 神宮司 洋行 | |

学校医 学校薬剤師

- | | | |
|----------|---------|---------|
| ● 上野 武彦 | ● 若月 福美 | ● 矢崎 裕久 |
| ● 茂手木 義男 | ● 小池 未和 | ● 森田 光洋 |

特別功労者

- 斉藤 幸三
- 故 前島 茂松
- 藤巻 亮太

永年勤続教職員

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ● 滝川 一夫 | ● 大澤 裕美 | ● 亀井 忠文 |
| ● 川崎 京子 | ● 神戸 隆之 | ● 佐々木 洋介 |
| ● 中村 芳仁 | ● 夏目 慶一郎 | ● 矢崎 正敏 |
| ● 米山 隆 | ● 布施 貴子 | ● 村松 礼奈 |
| ● 吉野 かおり | ● 近藤 寛通 | ● 土屋 悠子 |
| ● 桃原 一樹 | ● 渡邊 有信 | ● 河西 智美 |

創立130周年記念【事業概要】

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 記念式典 | 4. 記念品(トートバッグ)の作成 |
| 2. 記念講演会 | 5. 感謝状の贈呈 |
| 3. 記念誌の刊行 | 6. 学校教育活動の支援 |

校歌



山梨県立笛吹高等学校校歌

作詞・作曲 藤巻亮太

一 春は桃花の咲く道を
希望を胸に歩み行く
夏の実り力強く
歴史の一步記す
汗のしみ込むグラウンドに
涙の意味を教われれば
笛吹高校 心の友よ

二 秋は大地に根を下ろし
学びは高く天までも
冬は厳しアルプスの
白く雄々しき姿
世界の散智と共に今
試験の山やいざ越えん
笛吹高校 誇りを胸に

三 郷土に愛を育んで
夢彼方へ羽ばたかせ
その道を拓く心は
広く深く清く
心の壁や世界の壁
越えて繋がる和の力
笛吹高校 輝く命

この一瞬にこそ光宿して



創立130周年記念ロゴ

令和6年度、創立130周年を記念して生徒が記念ロゴをデザインしました。スクールマスコットキャラクターの「ももりん」と桑、蚕をモチーフとしており、蚕業学校として誕生し地域と共に130年の歴史を重ねてきた本校の姿を表しています。